

kikusui

# TECHNICAL DATA

仕上りの種類	吹付用軽量骨材仕上塗材 (吹付用軽量塗材)仕上り
製品名	キクスイ パールコート

下塗材： エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン系下塗材  
(水系クリヤータイプ)  
「キクスイ プライマー スーパーE」

第13版 作成日：2026年 2月 1日



菊水化学工業株式会社

# 公共建築工事施工仕様書

## 1. 仕上げの種類

吹付用軽量骨材仕上塗材(吹付用軽量塗材)仕上げ

## 2. 製品名

キクスイ パールコート

## 3. 適用範囲

吹付用軽量骨材仕上塗材(以下、吹付用軽量塗材という)による内装の吹付けによる仕上げ工事に適用する。

## 4. 材料

下塗材: キクスイ プライマー スーパーE

NET 15kg/缶入

主 材: キクスイ パールコート

[バインダー] NET 17kg/缶入

[専用骨材 大] NET 50L(7kg)/袋入

[専用骨材 小] NET 50L(10kg)/袋入

## 5. 下地

### 5.1 下地処理

下地処理は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」令和7年版第15章 左官工事の15.6.4下地処理に準ずる。

### 5.2 下地調整

下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」令和7年版第15章 左官工事の15.6.5下地調整に準ずる。

(1) コンクリート面の下地調整は、次による。

(ア) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。

(イ) 下地面の清掃を行う。

(ウ) 下地調整塗材C-2を、1~2mm程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面及び厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。

(エ) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗付けることができる。

(オ) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材CM-2を平滑に塗付ける。

(2) モルタル、プラスター及びプレキャストコンクリート面の下地調整は、次による。

(ア) 下地面の清掃を行う。

(イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。ただし、仕上塗材の下塗材で代用する場合は、省略することができる。

(3) せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整は、次による。

(ア) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」令和7年版18章 塗装工事の18.2.7 表18.2.7 [せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ] のB種とする。

(イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。

(4) ALCパネル面の下地調整は、次による。

(ア) 下地面の清掃を行う。

(イ) 合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。ただし、下地調整塗材Eで代用する場合は、省略することができる。

(ウ) 屋外は、仕上塗材の製造所の仕様により下地調整塗材C-1又は下地調整塗材Eを全面に塗り付けて、平滑にする。

(5) 押出成形セメント板面の下地調整は、次による。

(ア) 下地面の清掃を行う。

(イ) 日本建築学会材料規格JASS 18 M-201 [反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー] に基づく塗料を全面に塗り付ける。

なお、仕上塗材の製造所の仕様により、下塗材をJASS 18 M-201に基づく塗料で、代用することができる。

表 下地調整に使用する下地調整塗材及びシーラー

下地	下地調整材及びシーラー	菊水化学工業(株)該当製品名	備考
コンクリート	下地調整塗材 C-1	キクスイ フィラー カチオンRF JSプレミックス10	下地調整塗材を塗付後に 仕上塗材の下塗材を必ず塗布すること
	下地調整塗材 C-2	BR#15 BR-Dコテ カチコテSP カチオンRF JSプレミックスカチオン100	同上
	下地調整塗材 CM-2	BR-CM JSプレミックス20 JSプレミックス30 JSプレミックス60H	同上
モルタル、プラスター	仕上塗材の下塗材で代用	キクスイ プライマー スーパーE	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャストコンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	キクスイ 浸透性プライマーSP	仕上塗材の下塗材省略可
せっこうボード、 その他ボード	合成樹脂エマルジョンシーラー	キクスイ プライマー スーパーE キクスイ プライマー スーパーWE	—
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	キクスイ プライマー スーパーE キクスイ プライマー スーパーWE	下地調整塗材Eで代用する場合は省略可
	下地調整塗材 C-1	キクスイ フィラー カチオンRF JSプレミックス10	下地調整塗材を塗付後に 仕上塗材の下塗材を必ず塗布すること
	下地調整塗材 E	キクスイ ファンデ	—
押出成形セメント板	反応形合成樹脂シーラーおよび 弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	キクスイ 浸透性プライマーSP	仕上塗材の下塗材省略可

## 6. 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (23°C 50%RH)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )
下塗り	キクスイ プライマー スーパーE 主材：15kg 無希釈	はけ・ウールローラー エアレスプレー 等	1	3以上	0.1以上
主材塗り	キクスイ パールコート バインダー：17kg 専用骨材 大：50L(7kg) 専用骨材 小：50L(10kg) 清水：9~11L	ホッパーガン 口径：10mm 吹圧：0.6~0.8MPa	2	工程内 24以上	厚5mm以上

## 7. 工法

### 7.1 材料の練混ぜ

- (1) 下塗材は、希釈せずハンドミキサーで均一にする。
- (2) 主材の練り混ぜは、以下(a)~(c)の手順で行う。
  - (a) 容器にバインダー17kgと5 Lの清水を加え、泡立てるようによく混ぜる。
  - (b) 次に、専用骨材(小)1袋を加え、素早く混ぜる。
  - (c) 更に、専用骨材(大)1袋と4~6 Lの清水を加え、素早く混ぜ吹付けやすい状態にする。

#### <注意点>

- (7) 練り混ぜは、骨材を擦りつぶさないように、低速のハンドミキサーを使用する。
- (イ) 1回の練り混ぜ量は、可使時間内(30分)に使い切れる量とする。

### 7.2 下塗り

- (1) 下塗りは、だれ及び塗残しのないように均一に塗り付ける。

### 7.3 主材塗り

- (1) 見本と同様の模様で均一に仕上がるように、指定の条件により吹付ける。

## 8. 材料の取り扱い

- (1) 施工者は、材料の受入れ検査を行う。
- (2) 材料の保管にあたっては、直射日光を避け低温時において凍結しないように注意する。
- (3) 材料は使用に先立ち、材料の分離などについて検査を行い、異常が認められた場合は使用してはならない。
- (4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS（安全データシート）を参照のこと。

## 9. 施工時の養生

- (1) 外装仕上げ面においては、塗り付け作業前に直射日光、風及び雨を防ぐためシート掛け養生を行う。特にパラペットと足場の間には雨が吹き込まないように覆いをかける。
- (2) 夏季に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するため、シート類、ポリエチレンフィルムなどで覆う。
- (3) 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう適切な養生を行う。

## 10. 施工時の気象条件

- (1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避ける。
- (2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれのある場合及び強風時は施工を避ける。

## 11. その他の注意事項

- (1) 一般事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」令和7年版第15章 左官工事の15.6.3 施工一般に準ずる。
- (2) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないように注意する。
- (3) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがある。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行うこと。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

# 成分表

下塗材：キクスイ プライマー スーパーE

内 容	重 量 (%)
エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン	100.0
計	100.0

主 材：キクスイ パールコート

[バインダー]	内 容	重 量 (%)
	合成樹脂エマルジョン	27.4
	白色及び体質顔料	43.7
	水	24.3
	防カビ剤	0.2
	添加剤	4.4
	計	100.0

[専用骨材 大]

内 容	重 量 (%)
パーライト	100.0
計	100.0

[専用骨材 小]

内 容	重 量 (%)
パーライト	100.0
計	100.0

—以下余白—

# 性能試験成績書

仕上げの種類	吹付用軽量骨材仕上塗材 (吹付用軽量塗材)仕上げ	
製品名	キクスイ パールコート	
供試材料	下塗材：キクスイ プライマー スーパーE 主 材：キクスイ パールコート	
試験方法	JIS A 6909-2021 吹付用軽量塗材に準拠	
試験項目	規 定	結 果
耐アルカリ性 A法	ひび割れ、剥がれ及び膨れがない。	合格
防露性 (g/cm <sup>3</sup> )	0.25以上	0.43
耐湿性	ひび割れ、剥がれ及び膨れがない。	合格
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	0.1以上又は界面剥離がない。	0.4
—以下余白—		

\* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。